

八月はご先祖さまと交流する月

全国の神社で六月と十二月の年二回、『大祓』というお祓いを実施し、身に付いてしまった罪や穢れを清めるお祭りが執り行われることには前回触れました。当社でも設置させていただいた『茅の輪さん』をくぐって無病息災を祈願された方も多数いらっしゃるかと思えます。

現世の世の中のことを神道では『今中（いまなか）』と呼び大切にしますが忘れてはならないのが皆さんのご先祖（祖霊・祖神）さまとのつながりです。仏教には今の時節ですと盂蘭盆（お盆）、春と秋のお彼岸などにお墓や仏壇にお参りをされますが、神道でも祖先とのつながりを深める期間が春・秋と八月にあります。

私たち一人ひとりとは突如としてこの世に生まれ出てきたわけではありません。ご先祖の存在を通じてこの世にいます。

日本中が懸命に予防に取り組んで、疫禍もようやく収まるかと思われましたが、なかなか収束を見ることが出来ません。お墓参りに帰省が叶わず残念に思われている方も多いのではと案じます。一年を通じてご自分自身から始まりご家族・ご友人の息災を祈りつつ、帰省は叶わなくとも身近な氏神さまで祈りを捧げ、静かにご先祖と心を通わせる月として今後の習慣になさってはいかがでしょうか。

粟津天満神社